



第415号

発行

**公益社団法人
徳島県環境技術センター**

 徳島市津田海岸町 2-33
 電話 (088) 636-1234(代)
 FAX (088) 636-1122
 発行責任者 大坂 利弘
 編集者 原岡 艶甲

埼玉県で 全国浄化槽技術研究集会開催

第28回全国浄化槽技術研究集会が、9月17日・18日の2日間、さいたま市の大宮ソニックシティで、全国から延べ約1,400名の関係者が参加し開催された。



この研究集会は、浄化槽に関する技術の向上と適正な普及促進を図ることを目的に、公益財団法人日本環境整備教育センターの主催により毎年開催されており、今年が28回目となる。

今年は17日に式典、研究発表、パネルディスカッション、翌18日は行政報告や行政担当者研究会及び浄化槽検査員研究会が開催された。

17日は主催者の廣瀬理事長が開会の挨拶をしたあと、来賓者からの祝辞が述べられた。続いて前年の研究発表から浄化槽研究奨励・楠本賞の贈呈が執り行われた。

式典後は、東洋大学大学院経済学研究科根本祐二公民連携専攻長による「インフラ老朽化問題を乗り切れるのかー浄化槽の役割ー」と題して特別講演が行われた。

翌18日は、行政担当者と浄化槽検査員研究会で12演題の研究発表が行われ、浄化槽に関連する最新の行政動向や検査機関の取り組みなどが発表された。

当センターからは、宮内室長以下検査員5名が参加、レベルの高い他県の状況などを目の当たりにし、検査員として高度な専門知識が必要であることを痛感するとともに、今回学んだことを業務に活かし検査機関としてさらなるレベルアップを図りたいと語っていた。

6名の受賞者については、後日、徳島県庁で表彰式が執り行われ、飯泉知事より表彰状が授与される予定となっている。

入賞した方は次のとおり

「浄化槽の日」 ポスターコンクール 入賞作品決定！

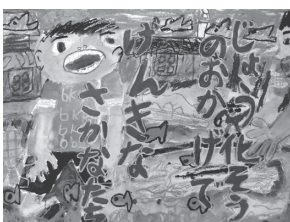
徳島県と県教育委員会、県環境技術センターは将来の徳島の環境を担う小学生・中学生の皆さんを対象に平成26年度「浄化槽の日」ポスターコンクールを開催した。今年度は、毎年の常連校に加え、コンピュータグラフィックスを用いた作品等もあり、小学生の部36点、中学生の部34点、総数70点の力作が寄せられた。選考会は、9月17日午後より、徳島県庁11階で開催され、選考の結果、20点（小学校の部10点・中学校の部10点）の受賞作品が決定した。



選考会風景

20点の受賞作品のうち、最優秀賞・優秀賞に輝いた

<最優秀作品>



小学生の部
佐々木 銀河さん
川田中小学校（2年）



中学生の部
楠原 歩さん
池田中学校
（3年）

おめでとうございます！

(敬称略)

○小学生の部

最優秀賞 佐々木 銀河
(川田中小2年)

優秀賞 仁 木 菜々子
(中野島小3年)
仁 木 萌々香
(中野島小5年)
長 浜 勇 翔
(山瀬小4年)

佳作 奥 田 青 葉
(中野島小2年)
水 早 楓
(中野島小5年)
井 村 玲 菜
(中野島小6年)
高 鍋 佑 輔
(山瀬小3年)
武 田 夢 奈
(山瀬小4年)
藤 友 美 波
(川田中小1年)

○中学生の部

最優秀賞 楠 原 歩
(池田中3年)

優秀賞 藤 原 朋 夏
(阿波中2年)
山 崎 百 絵
(阿波中2年)
平 井 義 人
(貞光中1年)

佳作 舟 岡 芽 生
(南部中1年)
玉 谷 優 樹
(阿波中2年)
大 塚 裕 貴
(阿波中3年)
山 口 類
(貞光中1年)
薦 田 さつき
(国府中2年)
南 本 龍 生
(国府中2年)

第3回

特別認定制度
審査委員会を開催

県環境技術センターは、9月1日(月)午後1時30分より4階会議室において第3回徳島県浄化槽管理士特別認定制度審査委員会を開催した。

この委員会は、浄化槽管理士特別認定制度（徳島県版指定採水員制度）において、制度が公正かつ適正に実施されているかを厳正に審査する目的で設置された審査会で、今回で3回目の開催となる。

当日は上月委員長（徳島大学院教授）をはじめ、人事異動等により新たに委嘱した委員3名を含む計8名と事務局4名の計12名が出席した。

上月委員長が議長として議事に入り、まず事務局より前回の議事内容の説明と現在の運用状況および7月9日に開催した特別認定講習の開催状況の報告を行った。

次に22名の管理士の特別認定と、新たに申請された9事業所の検査指定事業所の指定についてそれぞれ審査を行い、満場一致で全員（全事業所とも）承認された。

引き続き、浄化槽技術検討委員会から8月19日に取り纏めたクロスチェック検査における評価方法の一部を変更した技術検討委員会指針について説明し、委員会を閉じた。



上月委員長

平成
26
年度第3回浄化槽技術
検討委員会開催

県環境技術センターは8月19日(火)午後1時30分から、浄化槽技術検討委員会を開催した。

この委員会は、浄化槽管理士特別認定制度のクロスチェック等、信頼性の確保について必要な検討や、水質悪化施設の機能評価検査の結果内容を検討する目的で隔月に開催しており、当日は、センター内部委員とオブザーバーである阿南高専の川上周司助教の計15名が出席した。

はじめに、クロスチェック部会を開催し、クロスチェックの定例報告の他、9月1日に開催を予定して

いる特別認定制度審査委員会への報告及び提言事項について検討を行った。特に、4月より継続審議を行ってきたクロスチェック検査の評価方法に関する一部変更が委員会指針として最終取り纏められ、審査委員会へ報告することとなった。

引き続き開催した機能評価部会では、機能評価検査の実施報告と評価及び技術的助言等についての検討と取り纏めを行い、次回の実施予定等を報告して散会した。



「竹の水てっぽうで花に水を～あすたむらんどで水の大切さを学ぼう」のテーマで8月1日(金)、あすたむらんど徳島にて啓発イベントを開催した。



今回で4回目となり、約90人の子供たちが参加し、とてもにぎやかに開催された。

今年も、みずすまし隊を中心に手作りした竹の水てっぽうとペットボトルジョウロは大人気で、中でもキャラクターものの人気ぶりは驚くほどのものであった。

参加者の中にはまた“水てっぽうを目的に来た”という嬉しい声も多くいただき、イベントが定着しつつあることが伺える。

当イベントは、ため池の水を利用することで水の大切さや水の循環を学ぶことを目的にしているが、今では珍しい竹の水てっぽうの使い方や、一緒に参加した子たちどうしの交流など、私たちが思う以上のことを子供たちは学んでくれたようであった。

26年度設備士試験

251人が合格

合格率 24.4%で 3.8%ダウン

公益財団法人日本環境整備教育センターは、7月13日全国5ヶ所（宮城県、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）で開催した浄化槽設備士試験の結果を発表した。

それによると、本年度の受験申請者数は、1,143人（昨年度1,053人）でそのうち1,027人（同957人）が受験し受験率は89.9%（同90.9%）であった。

合格者は251人（同270人）で合格率は24.4%（同28.2%）で昨年度と比べ3.8%ダウンした。

県南部地域 プレー斉水質調査を実施

平成26年8月21日(木)、「みなみから届ける環づくり会議」の水質ワーキングメンバーと那賀川中学校、羽ノ浦中学校によって阿南市周辺の水質調査を実施した。

中学校の生徒たちはそれぞれ那賀川流域の水質調査を行い、水質ワーキングのメンバーである行政、団体、企業は新野町周辺の河川を担当した。センターは桑野川の採水を行った。なお、水質状況はCOD値を測定することで評価した。

また、それに先立ち、那賀川中学校・羽ノ浦中学校では、水環境に係る座学やCODパケットの取り扱い方法など事前授業を開催した。

結果については、阿南工業高等専門学校の上川助教により水質調査の結果をGoogle mapに反映していただいた。ほとんどの採水地点でCOD値は1～2mg/ℓ程度で良好であったが、用水等が混入するポイント等では、濁りも見受けられCOD値で6mg/ℓと少し高い値を示した。

これらについては、みなみから届ける環づくり会議のHPで公開する予定である。



職員研修セミナー開催

環境技術センターは、8月21日(木)午後5時から、4F会議室に於いて、センター職員を対象に、委託事業の業務等につき研修を行った。



特に、県の委託事業である設置届出書の窓口事務は支所の職員が担当していることから、今回研修には、検査員及び総務課職員あわせて41名が参加し、設置届出書の受付から標準契約書の事務処理など新設浄化槽にかかる一連の業務につき、研修した。

総務課北野課長補佐が講師となり、最初に浄化槽設置届出に係る法律の変遷を紹介。次に手続きフローや、使用開始報告書・管理者変更などの各種様式や内容を説明、最後に「維持管理標準契約書」についても触れ、当該制度の重要性を認識する機会となった。

インターンシップの研修を実施

県環境技術センターは、「県水・環境課」、「徳島大学」及び「徳島県立保健製薬環境センター」より依頼を受けインターンシップ研修生を受け入れた。

①県水・環境課の職員引率のもとインターンシップ研修生1名の研修を8月22日に実施した。

初めに、センターの事業内容及び水環境保全の重要性について説明。引き続き施設見学後、そのまま検査室へ移動し、水質検査の実地研修を行った。

研修生には法定検査の主要項目であるBOD検査の他、河川のサンプルについてCOD検査を体験してもらった。

短時間ではあったが、水環境保全の必要性について、実感していただけたのではないだろうか。

②徳島大学工学部の学生1名と総合科学部の学生1名を8月25日から29日までの5日間受け入れた。

初日は研修期間中のスケジュール説明などを実施し、午後には水質検査の実地研修に入った。

センター職員の指導の下、研修生らは主にBOD検査を担当した。

当センターはBOD検査では全国でも有数の検体数を取り扱うため、正確さ丁寧さの上に体力も必要であるなど、学生らはかなり苦労している様子であった。

両研修生はともに将来環境に関する職業に就きたいという夢をもっており、ぜひこのインターンシップでの体験を通じて、さらに自分の夢に向かって邁進してもらいたい。

③徳島県立保健製薬環境センターの研修生を1名9月9日に受け入れた。

当センターの業務について説明後、ビデオを使用し浄化槽の機能等について学んでもらった。

検査室へ移動しBOD検査を視察。短時間であったため、実際に検査業務に携わることは無かったが、公共用水域の水質保全に欠かすことのできない浄化槽について、全体のイメージはつかんでいただけたのではないだろうか。

今回の体験を活かし、未来の環境保全のリーダーとして活躍してもらいたいものである。



磯のいきもの観察会

～潮の満ち引きが
創り出す命の小宇宙～

8月23日、みなみから届ける環づくり会議主催の「磯のいきもの観察会～潮の満ち引きが創り出す命の小宇宙～」が海部郡牟岐町モラスコむぎ前浜で開催された。

当初8月10日に開催予定であったが、台風12号の影響で急遽延期になったにも関わらず、24組の親子が参加した。

事前に碁盤の目にいくつかの貝の種類をプリントしたビンゴ用紙に、磯で拾った貝を当てはめていく「海のいきものビンゴゲーム」や、子供たちが捕まえた海のいきものを水槽に集めた「てづくりミニチュア水族館」、牟岐の海で、漁師が釣ったタコや鯛を触る「タッチングプール」、「牟岐の海いきものカルタ」で大いに盛り上がった。

中でも最も人気があったのが、子供たちが自分で捕まえたカニを使った「カニレース」である。思い通りに動かないカニへ、力が入った応援を親子で行い、3つのレーンから、逃げ出すカニが多発するなど、終始歓声があがっていた。

みなみから届ける環づくり会議の幹事として、当センターのみずすまし隊も、スタッフとして参加し、磯の安全確認や親子が拾った貝の確認、捕まえたいきものの数のカウント等を行うなど、参加した親子との交流を深めた。

今回のイベントでは、親子で一緒に豊かな自然とふれあい、牟岐の海のいきものと親しむなど、子ども達にとって、遊びを通じて磯のいきものについて学び、青い空と海、そして磯の小さな生き物たちの命を感じてもらえた楽しい夏休みとなった。



水 質 計 量 便 り

「国連持続可能な開発のための教育の10年」の最終年である2014年11月に、ユネスコと日本政府により、愛知県にて「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」が開催されます。

そもそも、ESDとは（・・・？）

近年、経済開発が社会づくりの中で優先されてきました。その結果、私たちは地球環境問題を始めとした様々な問題を抱えています。

そこで、私たちの子孫が安心して暮らせる「持続可能な社会」構築のためには、何ができるか考え、そして行動することが求められます。このような、未来に向けて持続可能な社会を目指す学習や活動のことをESDと言います。

これらESDの10年間の成果を取りまとめ、また2014年以降の方策について議論する会議が、「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」なのです。

さて、当センターの事業でも小学生に対して環境学習を推進しています。

子供達へ「水質保全」の重要性を解り易く学んでもらうことは、大変難しい事ですが、「水の循環」や「私たちが使う水の量」「汚れた水をきれいにする方法」「私たちができること」などいろいろなコンテンツと実験を組み合わせるなど工夫をしています。

まさに、豊かな徳島の水環境を未来に残すための学習であり、未来を見据えた「持続可能な社会を目指す」取組だと考えています。

まだ正しい情報を提供し、自分たちで何ができるか考えてもらう段階ですが、将来様々な活動が広がってほしいものです。

今回「ESDに関するユネスコ世界会議」では、日本だけでなく世界の取り組みも紹介されます。世界の活動にはどんな取り組みがあるか楽しみです。（＝・^＝）

by koizumi

事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

○11条検査

日程：平成26年11月4日～12月5日
地区：徳島市・鳴門市・松茂町・板野町・三好市・東みよし町

○7条検査

日程：平成26年11月4日～12月5日
地区：徳島市・阿南市・小松島市・藍住町・北島町・石井町・上板町・神山町・美波町・牟岐町・海陽町・佐那河内村

○那賀町検査（らくらくあんしん協議会）

日程：平成26年11月4日～12月5日
地区：那賀町全域

○神山町検査

（神山町きれいな水づくり協議会）
日程：平成26年11月4日～12月5日
地区：神山町全域

